

令和3年度冬期企画展

災害伝承碑

埼玉県の

2022
1.15 土
⇒ 3.6 日

開館時間 ■ 9:00~17:00 休館日 ■ 月曜日

備前渠再興記

備前渠再興記（熊谷市八木田）

埼玉県立  の博物館

〒369-1217 埼玉県大里郡寄居町小園 39
Tel ● 048-581-7333 Fax ● 048-581-7332
URL ● <https://www.river-museum.jp/>

 彩の国
埼玉県

 埼玉県の
マスコット
コバトン

日本はその地理的条件により、昔から自然災害が多く発生してきました。特に近年は大きな自然災害が発生しており、国土地理院は2019年度から新たに「自然災害伝承碑」の情報を収集し、ウェブ地図「地理院地図」で掲載を始めています。

本企画展は埼玉県内の災害碑を調査し、水害に加え、地震、火山噴火、飢饉、早魃を伝承する石碑について調べられた高瀬正氏の記録を中心に、先人が災害について伝えんとするを受け取り、災害の歴史や現代への教訓を考えるものです。

びぜんきよ
備前渠再興記／火山災害

天明3年(1783)の浅間噴火で河道が変わり、灌漑水路である備前渠の利用について村同士の対立が起こってしまいました。しかし吉田宗敏や奉行所の役人の尽力で備前渠が再興され村人は大いに助かったことが記してある記念碑です。

御神灯(石灯籠)／水害

「寛保二年壬戌八月二日大水此社地深二尺村中浸軒者多」と刻まれ、寛保2年(1742)の洪水の際の水位を記しています。

展示では、災害種別に示した災害伝承碑マップのほか、災害伝承碑のレプリカと拓本の展示、国土地理院の自然災害伝承碑の紹介、災害時に人々の救済に尽力した人物伝の絵本動画上映などを行います。

災害伝承碑マップ

関連イベント

1 体験教室 要事前申込み

文字や模様もようを写し取り！
—拓本を取ってみよう—

拓本は、木や石に刻まれた文字や模様を墨で紙に写し取る方法です。今回は、コインやキーホルダー、葉っぱなど身近なものを使って拓本に取ります。大人も子供も楽しめる拓本に挑戦してみませんか？綺麗に取れたら飾りになるかも知れません。持ち込みも歓迎します。

日時 2月19日(土) 13:30～15:00
講師 諸岡 勝氏(元埼玉県立文書館副館長)
参加費 200円

2 講演会 要事前申込み

災害伝承碑の調査あれこれ

今回の災害伝承碑の展示は、高瀬正氏が20年ほど前に調査をされ、とりまとめられた貴重な記録を中心に紹介しています。一個人として災害伝承碑を調べるきっかけや調査時のエピソードなどをお話いただけます。

日時 3月5日(土) 13:30～14:30
講師 高瀬 正氏(小川町文化財保護委員)
参加費 無料

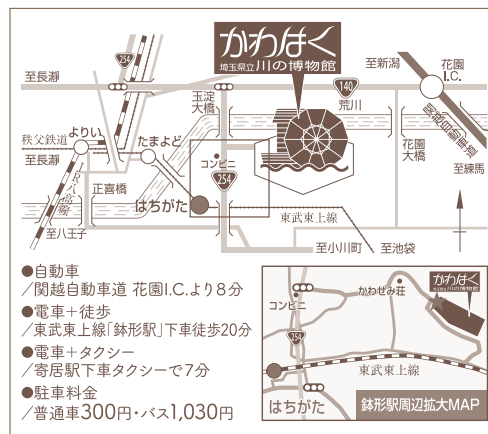
3 展示解説 当日参加

学芸員が展示解説を行います。

日時 1月29日(土)・2月26日(土) ① 11:30～ ② 14:00～
参加費 無料

観覧料 一般410円(240円)
学生・高校生200円(120円)

※()内は20名以上の団体料金
※中学生以下、障害者手帳をお持ちの方は無料
※開館日・開館時間・イベント等については、今後の諸事情により変更する場合があります。



Twitter Instagram @kawashirou Facebook @SaitamaMuseumOfRivers

最新の情報、詳細はホームページで